

第3回「発達障害」を理解する講演会

今回のテーマは前回に続き、発達障害に対してさらに理解を深めるとともに、発達障害のある人(幼児、児童、生徒、大人)の「障害特性」の理解と「具体的支援」を中心とした内容です。
誰もがこれからずっとこの地域で共に暮らしていくために、発達障害を理解し、障害のある人に対する支援の在り方等について考えましょう。

日時 令和3年3月12日(金)18:30~20:00
 テーマ **「発達障害の理解と支援について」**
～みんなが幸せに生きるためのヒント～
 講師 西城自治振興区 平井正澄 事務局長
 元庄原特別支援学校 特別支援教育支援室長
 庄原市知的障害者相談員、庄原市人権推進審議会委員
 場所 西城自治振興センター 1F研修室
 参加料 無料
 定員 20名(3密防止のため、定員を設けます)
 お申込み 令和3年3月8日(月)まで... 西城自治振興区(Tel.82-2175)



西城自治振興区フェスティバル中止のご案内

3月に予定しておりました「西城自治振興区フェスティバル」は、会場が大変密になることが想定され、関係団体とも協議を行った結果、新型コロナウイルス感染防止のため、残念ながら本年度の開催は中止とさせていただきます。どうかよろしくお願ひいたします。



いざなみカード (愛称 な・み・か) の申込はお済みですか？

庄原市が市民全員に**1万円分**のプレミアムポイントが付いた『いざなみカード(な・み・か)を贈呈!』

申込方法

12月に、世帯主様宛に世帯全員分の申込書を送っています。(緑の角2サイズの封筒)紛失された場合は、庄原市役所から申込書を再度お送りすることができますので、お知らせください。

庄原市役所 企画振興部 商工観光課(Tel.0824-73-1178)

申込期限 令和3年3月19日(金)(消印有効)

いざなみカード(な・み・か)とは？

- 令和3年3月1日より庄原市内の加盟店で使うことができます。
- 1ポイント1円でお買い物時に利用できます。
- 200円(税抜)のお買上げ(現金もしくは電子マネー)ごとに1ポイントを進呈します。
- 加盟店でチャージできる電子マネー機能は、5万円まで入金でき、キャッシュレスでお買い物ができます。
- 年会費などのお客様負担費用はありません。

問合せ先:庄原市キャッシュレス決済推進協議会事務局(Tel.08477-2-0525)



今後の行事予定

◎パソコン教室

令和3年3月12日(金)13:30~

令和3年3月26日(金)13:30~

西城自治振興センターご利用の皆さんへ

広島県では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年2月21日まで集中対策期間として取り組んでいます。引き続き感染対策にご協力をお願いいたします。

西城自治振興区だより

西城 まちづくり便

2021.2.19
Vol.104

題字:前田 希美さん
美古登小学校 6年生

☎729-5722 広島県庄原市西城町大佐734 TEL/FAX:0824-82-2175

Mail:saijyo.jichi@gmail.com facebook:西城自治振興区

子育て支援『西城キッズルームひよこ』はこんな所!(元美古登保育園)

地域でのつながりが薄れたり、核家族化が進んだりして孤立するお母さんがいないように...子育て支援センターの意義は年々大きくなっているようです。

『西城キッズルームひよこ』(開設日:毎週火曜日と木曜日)は、小さな子どもさんをかかえる家族のためにあります。(生まれたばかりの下の子の世話など、事情のあるお母さんに代わっておばあちゃんたちも参加されています。)

季節の行事や、定期的な身体測定や育児相談、もの作りなど時にはイベントに参加しながら、友達作りをしたり、子育ての悩みを出し合ったり、子どもたちの成長を喜び合ったりして思いを共有し、親子共に楽しい時間を過ごすことができます。また、市内在住でなくても里帰りされているお母さんたちもしっかり活用されています。

～みなさんのお話～

コロナ禍や近くに同じ年代の子どもがいないということで、家に引きこもりがちになったりすることでも、でも火・木曜日は、同じ町内の仲間を求めて、またいつも在籍される先生にも気軽に話を聞いてもらえることからできるだけ参加しているそうです。

また、旧市内での買い物や用事の際に、少しでも子どもの遊びの場を求めて西城だけでなく積極的に庄原市の支援センターに出向いている人も。ジョイフル子育て支援センターにはファミリーサポート・一時預かりもあり、施設を利用して用事を済ませることもあるそうです。もちろん、西城にもファミリーサポートがあります。

※西城町のファミリーサポーターの募集は、しあわせ館(保健福祉係)で行っています。

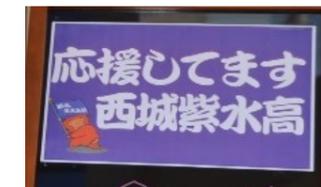


この日は、皆さんネグウオーマー作りに挑戦(指導者は地域の先輩ママ笹田さんです)

チャレンジ! 第2回 西城紫水高等学校「紫水塾」開催 1月30日(土)~31日(日)

今回は、土・日の2日間、西城自治振興センターを会場に西城紫水高等学校の12名の生徒さん(1~2年生中心)が集中学習会を行いました。

講師には予備校から2名の先生を招き、各自の目標に応じた学習を行いました。頑張れ西城紫水校生!!



自治会長さんにインタビュー（平子自治会長 新田 晴士さん）

今回は、平子自治会長さんにインタビューさせていただきました。

1. 特色ある活動
 - ①地域での見守り活動と災害時支援のため、基礎資料となる会員名簿作成
 - ②栗自治会と合同で、デイホーム事業「平子夢ひろば」支援
 - ③会員対象の研修会
 - ④その他、GG大会、敬老会、とんど、夏祭りなど
2. 地域の困りごと、課題
 - ①イベントのマンネリ化と参加者の減少
 - ②役員の偏り...（高齢化などで）動ける会員の減少が原因の一つ
3. 地域の自慢、自慢の方々
会員の皆さん、それぞれの立場で活躍されている。
4. 今からやりたいこと
 - ①地域防災計画を見直し、災害時への避難体制の仕組みづくり
 - ②住み慣れた地域で、一日でも長く暮らしていくことができる見守り・支援体制の仕組みづくり
 - ③女性部（仮称）の組織づくり
5. 自治振興センターへの要望
 - ①地域包括ケアシステムの一翼を担う住民側の基本組織としての活動をお願いする。
同時に、自治会への情報提供、指導、助言をしてほしい。
 - ②広報誌「まちづくり便」の見直し
 - ・自治振興区の方針や活動、イベントなどを掲載してほしい。
理由として、主催事業でなく他団体が行った事業の紹介が多い。
 - ・用紙の質を下げ、カラー写真を少なくする。
理由として、経費削減のため。



* お忙しいところ、貴重なご意見ありがとうございました。今後、検討して参りたいと思います。

おめでとうございます！！

科学研究で受賞

西城小学校1年生の新田真弥（まさや）君は、研究テーマ「みみずのかんさつ」で、本年度の庄原市児童生徒科学研究作品展、第61回広島県科学賞で特選（広島テレビ賞）を受賞されました。

新田君は、みみずの「動き方（移動の仕方）」を詳しく観察し、また、「糞（ふん）は土の上です」とことなどを調べました。「みみずが逃げ出して干からびたり大変なこともあったけど、楽しく観察できました。」と明るい笑顔で感想を語ってくれました。

また、今回の研究に対してPTA全国協議会会長賞が贈られました。



ジュニアアルpensキー県大会優勝

1月12日（火）に、恐羅漢スキー場において「2021広島県ジュニアアルpensスキー競技会」が開催されました。

西城小学校6年生の主田宵（しょう）君は、「小学校5・6年生の部」に出場、見事優勝をされました。

本競技は、北海道釧路市国設阿寒湖畔スキー場において開催される『JOCジュニアオリンピックカップ2021全日本ジュニアスキー選手権大会』の予選会を兼ねており、全国大会（3月25日～3月29日）への出場も決定とのことでした。

「目標は、大回転で16位に入ることです！（パラレル大回転に進む）道後山や芸北など、土日を利用して練習に励んでいます。スキーの面白さは、恐ろしさとの闘いや、滑り終えた後の達成感などです。」と目標などを語ってくれました。

技術と精神力のせめぎ合いになるのでしょうか。全国大会でのご活躍を願っております。

* 新田君、主田君をはじめ、町内の児童生徒のみなさんは皆頑張っています。これからもファイト！！



町の元気！ イチオシ

編み物教室
杉田睦子さん（先生）

長年にわたりありがとうございました。

町内の、頑張っておられる人や、めずらしい、面白いものに目を向け、町の皆さんに紹介しています。

65年もの長きのわたり編み物に携わり、皆さんに元気をくださっていた杉田睦子さんが一線を退かれることになりました。編み物の魅力をお聞きました。

編み物と向かい合って65年

1本の糸から服や色々な編みぐるみができるので興味をもち始めました。段々と年を重ねるにつれ、ぼけ防止にとがんばってきました。

編み機は、早く美しくできるの言うまでもありませんが、たとえ失敗しても何回でも再生が利き、ほどき直すこともあまり苦になりません。機械が出回らなくなって、その良さがわかるだけに残念な気持ちでした。それからは、手編みが主流となり、再度資格を取りました。

セーターやベストだけでなく、かごやバッグ、座布団、人形など小物グッズ作りと広がり、材料も毛糸だけでなくビーズやモールと広がっていき、工夫を重ねることでまた創造が広がりました。できあがった作品を手にする喜びは何とも言えません。

足跡

- ・広島で機械編みを習い、資格を取得
- ・昭和30年、ブラザー機械編み教室を自宅で始める。庄原ブラザー営業所のお世話になりながら山家、小鳥原、大屋、後油木、栗、小奴可など、各地域で教室を開いた。
- ・主流だった機械編みが下火に。福山まで手編み教室に通い資格を取得
- ・昭和60年3月10日より自宅で手編み教室を開く。
- ・平成2年11月6日、サンパークで教室を開く。
- ・平成14年10月、ウイル2階で教室を開く。
役場のお世話になり、農閑期には隣保館（現在のふれあいセンター）で、小学生から一般の方々を集め手芸教室を開く。
- ・平成17年4月15日、元公民館で教室を開く。
- ・平成26年4月10日、西城自治振興センターで教室を開く。令和2年12月18日を最後に休止する。

今のお気持ちは？

長い間、本当にありがとうございました。これで一応幕を閉じることにしました。その中でも町美展の展示、市老連の展示会、しあわせ館の展示即売会等、いろいろやったことが懐かしく思い出されます。

皆さん、これまでご協力いただいて本当にありがとうございました。若い人の参加がなかなかないことや、後継者がいないことが残念ではあります。



町美展出展作品



杉田睦子さん



杉田睦子さん

* 今回、一線を退かれることになりましたが、町民の集会活動を盛り上げ、指導者として技術の伝達に貢献されたご功績に対して敬意を表し、これからも更にお元気で相談にのってくださるのではありませんかと期待しております。